

安全および取り扱いに関する注意事項 — 日本語

このガイドは後に参照できるよう保管しておいてください

この安全ガイドでは APC 機器の据付と保守で厳守しなければならない重要な手順を説明しています。APC 機器の設定、取付、移動、または保守に際しユーザの皆様は参照していただくことを目的としています。

APC 明示的な承認を受けずに本製品を改変すると、本製品の保証が無効になることがあります



安全および取り扱いに関する詳細については、機器に付属の取付／開梱手順を参照してください。

取り扱う際の注意事項



- このユニットは重心が非常に高くなっています。ユニットの開梱時および最終サイトに移す際は、転倒しないよう十分に注意してください。
- 認定されている移動用ツールについては本機器に付属のマニュアルを参照してください。



- この装置は重量物ですので、移動させる際は適切な機器を使用する必要があります。
- 1 人では絶対に本機器を持ち上げたり、移動しないでください。
- 機器の移動にフォークリフトを使用する場合は必ず機器の底部から持ち上げてください。



<18 kg



32 – 55 kg



>8.5°



>10°



18 – 42 kg



>55 kg

- 機器を覆いのないままにしておくと、機器を破損させるとともに製品保証が無効になります。
- 安全および機器の破損防止のために、可能であれば機器は最終位置に配置する段階までパレットに載せたままにしておいてください。

注意



- 配管を正しく行わないと機器が正常に作動しなくなる場合があります。
- 凝縮水の排水ラインの配管は必ず規格に準じて行ってください。
- 装置を床面に固定させる際の金具は必ず規格品を使用してください。
- 絶対に他社製の継手やチューブを APC 供給のものと混ぜて使用しないでください。
- パイプの継手部分を繋げるカップリングを締め過ぎないようにしてください。締め過ぎるとネジ山が変形して水漏れを起こすことがあります。
- 排水系統の配管を規定以上に高くしたり長くしたりしないでください。
- すべての作業は APC 認定のサービスエンジニアのみが実施するものとします。
- 手、衣服、アクセサリ類は可動部分に近付けないでください。
- 作動開始前に異物の有無を機器で点検してください。
- 本製品に含まれる回路基盤は静電気で破損する可能性があります。基盤を取り扱う場合は、可能な限り、リストストラップ、ヒールストラップ、トーストラップ、電導シューズなどの静電気放電用具 (ESD) を使用し、なおかつプレートの端だけに触れてください。これを行わないと、基盤の破損およびユニットの誤作動に至ることがあります。
- 本製品の使用はコンピュータ室に限定されます。
- 取り付ける前に機器に破損がないかを確認してください。
- 取り付ける前に電源コードのプラグとソケットに破損がないことを確認してください。
- 取付が完了するまで機器の電源を入れないでください。

電気関連の注意事項



- すべての作業は APC 認定のサービスエンジニアのみが実施するものとします。本機器には、危険かつ致死レベルのおそれのある電圧が内在します。この機器の電源を入れる／切るには複数の遮断スイッチが必要な場合があります。マニュアル内の注意および警告のすべてに従ってください。これを怠った場合、重傷や死亡に至るおそれがあります。本機器への作業は有資格の保守整備要員に限定されます。
- 本装置の据付は当該地域および国のすべての規格に準じて行ってください。
- InRow RC の無停電電源装置への接続は、有資格の電気技術者あるいは APC フィールドサービスエンジニアに限定されます。
- 通電状態の部品近辺の作業はアクセサリ類を着用したまま行わないでください。
- 本装置は屋内設置仕様です。
- いかなる電気接続の場合でも、電源が遮断されていることを電圧計で確認してから行ってください。
- 設定場所の状況に応じて単相または三相電源が必要になる場合があります。供給電源は国および当該地域の規格・基準に適合していなければなりません。本装置は電源コードを通して接地されています。正しい最小電流容量（MCA）と最大過電流保護（MOP）については機器の銘板を参照してください。
- 入力／出力の接続はすべて Class 2 の回路として配線してください。
- 配線されている機器には接地用のコードはありません。
- プラグ接続の機器の定格は単一電流のみとなっています。
- 配線接続の機器はプラグ接続の機器とは別個の回線にしてください。
- 本機器には複数の電源が存在する場合があります。サービス作業の前にはすべての電源接続を外してください。
- 配線接続されている製品の場合、すべての電気接続は電気ボックスの蓋にある電気回路図に記載されています。
- 本機器のサービス作業時には各設置場所のロックアウト／タグアウト手順に必ず従ってください。

その他の参照文書



- 取付、操作、保守の正しい手順については機器のマニュアルを参照してください。

